

**学校法人 福原学園
平成30年度事業計画**

平成30年3月

目 次

I. はじめに

II. 事業の概要

1. 九州共立大学	1
(1) 教育活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の強化	
2. 九州女子大学・九州女子短期大学	4
(1) 教育活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の強化	
3. 自由ヶ丘高等学校	7
(1) 教師の資質向上および組織的教育力の充実	
(2) 部活動の充実	
(3) 募集活動および地域社会との連携強化	
4. 九州女子大学附属幼稚園	9
(1) 折尾幼稚園	
(2) 自由ヶ丘幼稚園	
(3) 鞍手幼稚園	
5. 管理運営	12
(1) 組織改革	
(2) 人員体制	
(3) 制度改革	
(4) 省エネおよび節電対策の推進	
(5) IRデータによる改善・改革の支援	
(6) 教育研究環境の整備	

※. 添付資料

- 平成30年度事業計画アクションプラン
- (1) 九州共立大学
 - (2) 九州女子大学・九州女子短期大学
 - (3) 自由ヶ丘高等学校
 - (4) 折尾幼稚園
 - (5) 自由ヶ丘幼稚園
 - (6) 鞍手幼稚園
 - (7) 法人事務局

I. はじめに

福原学園は、建学の精神である「自律処行」の理念に基づき、平成20年度に策定した「福原学園設置大学中期計画(6ヶ年)」、および平成22年度に策定した「中期財政計画(4ヶ年)」で積み残した課題を精査し、新たな改革・施策に着手するため平成26年度より「福原学園第2次中期計画(5ヶ年)」、および「福原学園第2次中期財政計画(5ヶ年)」を策定し、過年度実施項目を点検のうえ、両計画を履行するものである。

II. 事業の概要

1. 九州共立大学

九州共立大学は、「社会に適応できる自立した職業人を養成する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、知識基盤社会で活躍し得る教養と課題追求能力・総合的判断能力・問題処理能力を併せ持つ真摯な学生を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教育活動の充実

職業人養成教育大学として、資格・免許取得を学修成果とし、学生の質に応じた教育活動を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1) 特色ある教育課程の編成

①経済学部ICTバリアフリー化パイロット事業等の展開 【九共大AP. No1】

ICT ST(サポートチーム)による年度活動計画の立案、無線LAN利用者へのサポート・効果的なサポートのための勉強会、快適な無線LAN環境の維持管理、無線LAN利用状況の調査・分析、電子黒板利用方法に関する勉強会の開催、ノートPCの更新を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：自分自身のICTスキルアップを実感する学生数の全学生数に対する比率 80%

②地域連携推進センターの設置による地域連携事業プランならびに学生の体験学修の推進

**【九共大
AP. No2】**

学生の人材育成に資する地域連携事業プランに派遣することにより、体験学修を通じた社会人基礎力の育成を行う。また、学生の活動意欲を高めることを目的としたアドベンチャー教育プログラムについても引き続き検討を行う。

[成果指標]：地域連携推進センター運営委員会の開催 年10回

地域連携協議会の開催 年2回

地域連携推進事業評価委員会の開催 年1回

プログラム実施後のアンケートによる学生満足度 80%

③経済学部の教育課程改革の実施 【九共大AP. No3】

教育課程改革の基本方針に基づき、定員確保と退学者防止のため、平成27年4月から運用を開始した新教育課程に関する検証を行う。

④スポーツ学部の教育課程改革の実施 【九共大AP. No4】

個々の学生のキャリア形成に向け、学生の進路に応じた学修内容の方向付けを明確にした教育課程構築のため、平成28年度より運用を開始した教育課程に関する検証を行う。また、同時に運用を開始した「小学校教員養成プログラム」によ

る免許取得の支援体制の構築を継続する。

⑤共同実施制度による大学院研究科の設置 **【九共大AP.No5】**

平成30年4月開設のスポーツ学研究所について、設置計画を確実に履行する。
また、共同実施制度による大学院研究科の設置構想を見据え、大学院の授業が担当可能な教員の教育研究業績の精査を通じて、基礎となる学部学科単位で漸次の設置に向け検討する。

2)学修成果を重視した教育課程の強化

①組織的・体系的な教育課程の質的転換への取り組み **【九共大AP.No6】**

教員の授業改善、資質向上を図るため、全学的なFD活動を実施するとともに、「FDハンドブック」の継続発刊を行う。また、小グループ単位での自主的なFD活動の検討、DP・CP見直し、各授業科目の到達目標設定、シラバス（授業計画）の点検・見直し等を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：授業評価アンケート評価4.0以上キープ 4.0以上
ハンドブックの継続発行(年1回) 1回

②教育力向上成果について全学的な検証評価体制の確立 **【九共大AP.No7】**

全学的な検証評価体制の確立のため、教育課程における諸活動についての点検・評価を行い、その結果に基づく改革・改善方法の検討・指示、教育業績の評価の仕組み作りの検討、ならびにPDCAサイクルの循環状況の検証を行う。

3)免許・資格取得支援の強化

①公務員試験対策等の充実(経済学部) **【九共大AP.No8】**

公務員希望者への支援を行うため、試験対策計画の立案、勉強会、模擬試験、ならびに個別面談等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公務員試験の合格者数 10人

②公務員試験対策の充実(スポーツ学部) **【九共大AP.No9】**

公務員希望者への支援を行うため、ガイダンス・職場訪問・受験対策講座等を提供することにより、合格者を増加させることとし、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公務員試験の合格者数 35人

③アスレティックトレーナー(AT)の資格対策の充実 **【九共大AP.No10】**

一人でも多くのAT現役合格者を出すため、実技・筆記試験対策講座、ならびにプロ・実業団チームトレーナー、チームドクターとの交流等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生参加者数 20人 現役合格者数 3人(既卒合格者数2人)

④健康運動指導者の試験対策の充実 **【九共大AP.No11】**

現場実習を充実させ、質の高い学生を社会に送り出すため、eラーニングテストを継続して実施するとともに、学生の将来設計(運動指導・運動処方)に応じた実習施設への斡旋等を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：資格試験(健康運動指導士)合格者数 15人

⑤保健体育科教員の試験対策の充実 **【九共大AP.No12】**

指導力と質の高さを合わせ持った保健体育科教員育成のため、試験対策計画の立案、試験対策、教員養成セミナー、ならびに研究会等への参加・情報収集等を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：現役合格者数 4人(既卒合格者数12人) 学生参加者数 200人

(2)学生支援の充実

教職員と学生とのコミュニケーションの活性化を図ることにより学生支援体制を充実し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1) 学生支援の強化

① 大学祭の活性化および地域への社会貢献の推進 【九共大AP.No13】

大学祭の活性化および地域との連携を図るため、大学祭において、地域参加型のイベントおよび大学の特色・強みを生かしたイベントを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：模擬店の出店数 40店

② 新入生の交流促進（友だち作り） 【九共大AP.No14】

新入生の仲間作りのため、新入生宿泊研修、県人会、新規サークル活動、大学行事等への参加を通じて、新入生の交流促進を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：県人会設立数 3件

運動会（球技大会）への1年生の参加 50人

③ 文化系サークル団体設立の推進 【九共大AP.No15】

学生支援の充実の一環として、文化系サークルの増加とサークル加入率を高めるため、計画の立案、サークル活動環境の整備等について学友会との調整を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：設立サークル数 6件

2) 就業力育成支援の強化

① 卒業後の進路先と連携した課題解決型インターンシップの実施 【九共大AP.No16】

補助金を活用した教育改革を進めるため、実行部会の開催、事前研修、課題解決型インターンシップ、ならびに事後研修等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：課題解決型インターンシップ参加者数 20人

② 就職支援対策の充実 【九共大AP.No17】

就職支援体制強化を図るため、面接指導の強化、学内個別会社説明会、ならびに卒業生や既内定学生との座談会等を開催し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：面接指導学生参加者数 250人 学内個別会社説明会学生参加者数 120人

サポート利用者数 96人

3) 国際交流支援の強化

① 海外協定校からの短期留学生の受入促進と海外留学の推進 【九共大AP.No18】

大学の国際化・人材の国際化のため短期留学生の受け入れと日本人学生の短期派遣が求められている。その実現のため、欧米・オセアニア・アジアからの留学生の受け入れ促進を図り、国際交流を促進する。平成30年度は、欧米の短期留学生の受け入れで本学学生の国際的関心を高め、更に派遣海外プログラム特待生の周知で欧米・オセアニア・アジアへ短期留学生の増加を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：短期留学生受入人数 11人 短期留学生派遣人数 4人

(3) 大学運営の強化

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1) 大学運営組織体制の強化

① 九州共立大学IR推進委員会の活動を中心とした改革諸事業への支援 【九共大AP.No19】

平成28年12月に「九州共立大学IR推進タスクフォース」を発展的に解消し、福原学園IR委員会との連携を強化することを目的に、評議会の下に「九州共立大学IR推進委員会」を設置した。本委員会にて、大学ポートレート・学修に関するアンケート調査・各種データ収集を行いPDCAの好循環を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：データ分析結果の報告件数 5件

2) 教職員相互信頼の強化

① 委員会組織の改編ならびに事務組織における所掌事務の見直し【九共大AP.No20】

教職協働体制の更なる強化を図るため、事務組織の再編に係る所掌事務の見直しと再編後の検証、各学部を設置する各種委員会の実態把握・改編、ならびに各課所掌事務の見直し等を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：主要委員会の統合数(スリム化数) 1件

3) 戦略的募集広報の強化

① 入試制度の点検と見直し

【九共大AP.No21】

「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について」(29文科高第355号)を踏まえた入試改革の骨子案を策定し、入学試験委員会を中心に学部と連携・協議のうえ、入学志願者への予告を行う。

また、平成31年度入試においてもこの骨子案を踏まえ「学力の3要素」に即して入学希望者に求められる能力、および、その具体的な評価方法を明確にし、アドミッションポリシーに照らして具現化する。

② 本学の強みに主眼をおいた高校向け広報を強化

【九共大AP.No22】

広報委員会を中心に、経済学部、スポーツ学部と入試広報課の連携および情報共有を促進させ、積極的かつ効果的な募集広報を展開し、短・中・長期的に志願者、入学者の増加を図る。具体策として出前講義の前年度の実施テーマと実績校をとりまとめて、高校訪問時の資料として積極的に活用するとともに、校内ガイダンス、大学見学会および進学説明会等へ積極的に参加し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：出前講義の数 40件

2. 九州女子大学・九州女子短期大学

九州女子大学・九州女子短期大学は、「地域に根差した実践教育を展開する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、社会の期待に応えられる基礎的・汎用的能力を併せ持つ、強くてしなやかな女性を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1) 教育活動の充実

学生への丁寧な教育と質の高い教育活動を行い、地域社会の核となる実践教育を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1) 地域社会との連携の強化

① 地域社会のニーズに応じた「知」の提供

【九女大・九女短大AP.No1】

地域社会との連携強化を図るため、「学生の質保証の強化」、「大学の教育・研究機能の活用」、「地域社会との共生」の3つの柱を掲げ、自治体との連携事業として、「芦屋町」との包括的連携事業、北九州市との連携事業「放課後児童クラブ」、各種インターンシップおよび地域活性学会の活動等を通じた他大学地域連携事業の調査・研究を行う。

2) 教育活動の質の転換および質保証の強化

① 教育課程の体系化が俯瞰できるカリキュラムツリー等の作成および公表

【九女大・九女短大AP.No2】

教育課程体系の可視化、授業計画への利活用および教育情報の公表を目的として、各学科・専攻に即したカリキュラムマップ・カリキュラムツリーの作成および検証や科目ナンバリングを行う。また、シラバスのWeb化に関する検討を行う。

②学修成果の測定・評価における評価方法・指標の検討および適用 【九女大・九女短大AP.No3】

学生の学修成果を把握するため、アセスメントテストの継続的実施、授業科目を評価するためのルーブリック（学修評価基準の作成方法）の活用について検証を行う。

③教員間の連携と協力による授業等の組織的教育の実施 【九女大・九女短大AP.No4】

教育の質的転換に教員が主体的に参画するため、日本語領域科目担当者会議において、「日本語表現法Ⅰ・Ⅱ」のシラバスおよび共通テキストの改善、共通テキストの作成、成績評価基準の策定を行う。また、英語領域科目担当者会議、情報領域科目担当者会議の実施内容を継続的に検証する。

[成果指標]：該当科目の授業フィードバックアンケートにおける授業・教材満足度 90%

④家政学部の教育課程改革の実施 【九女大・九女短大AP.No5】

管理栄養士国家試験合格率向上に向けた継続的検討、完成年度を迎える人間生活学科の教育課程再編についての検証を行う。

また、家政学部改革検討部会において「成績評価の基本方針に基づく教育運営委員会での検証方法」、および「資格・免許取得および三つのポリシーの体系的運用に係る開講科目間の連携」について、継続して検討する。

⑤人間科学部の教育課程改革の実施 【九女大・九女短大AP.No6】

教職課程の再課程認定申請に伴うカリキュラム変更に関する検証について、教職課程員会と連携して検討を行う。また、学修成果を重視した教育課程の検証について、教務委員会およびFD推進委員会と連携して検討を行う。

さらに、人間科学部改革検討部会の検討内容を計画に基づき実施し、事業計画アクションプランにおいて計画している業務内容について検証を行う。

⑥共同実施制度による大学院研究科の設置 【九女大・九女短大AP.No7】

今後の教員養成や大学院設置の施策について情報収集しつつ、共同実施制度による大学院研究科構想3案を見据えながら、大学院の授業が担当可能な教員の教育研究業績の精査を通じ、基礎となる学部学科単位での漸次の設置に向け、検討を行う。

3) 免許・資格取得支援の強化

①教員採用試験・一般企業採用総合対策(人間生活学科) 【九女大・九女短大AP.No8-1】

公立学校教員採用試験合格者を輩出するため、外部機関が実施する委託講座（一次・二次試験対策）を実施するとともに、インテリアコーディネーターの試験対策に取り組み、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立中・高(家庭)教員採用一次試験合格者数 3人

公立中・高(家庭)教員採用二次試験合格者数 1人

インテリアコーディネーター二次試験合格者数 5人

②管理栄養士国家試験総合対策(栄養学科) 【九女大・九女短大AP.No8-2】

国家試験対策に係る体制整備のため、国家試験対策を1年次から段階的に実施する。また、3年次後期に「栄養士実力認定試験」を受験する効果を継続して検証し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：管理栄養士国家試験受験率 100%

管理栄養士国家試験合格率 100%

③教員採用試験・保育者採用総合対策(人間発達学専攻) 【九女大・九女短大AP.No8-3】

教員採用試験合格者の増加のため、外部機関が実施する委託講座、ならびに教員採用模擬試験の受験を実施するとともに、教員採用試験受験旅費の補助、教員

採用試験関係書籍の整備を行う。また、幼稚園・保育園採用試験対策について、セミナー、模擬試験、ならびに個別面談等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立小学校・特別支援学校教員採用試験合格者数 39人

国公立幼稚園・保育園採用試験合格者数 8人

④教員採用試験・一般企業採用総合対策(人間基礎学専攻) 【九女大・九女短大AP.No8-4】

教員採用試験および一般企業採用対策のため、試験対策計画の立案、教員採用対策講座・ITパスポート対策講座、模擬試験、ならびに模擬試験事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立中・高(国語)および高(書道・情報)教員採用試験合格者数 3人

国家試験(ITパスポート)合格率 50%

⑤教員採用試験総合対策(子ども健康学科) 【九女大・九女短大AP.No8-5】

教員採用試験合格者の増加のため、外部機関が実施する委託講座、教員採用一次試験対策、教員採用二次試験対策、模擬試験、ならびに試験後の事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立幼稚園・養護教員採用一次試験合格者数 5人

公立幼稚園・養護教員採用二次試験合格者数 3人

⑥教員採用試験総合対策(専攻科) 【九女大・九女短大AP.No8-6】

教員採用試験合格者の増加のため、外部機関が実施する委託講座、教員採用一次試験対策、教員採用二次試験対策、模擬試験、ならびに試験後の事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立養護教員採用一次試験合格者数 10人

公立養護教員採用二次試験合格者数 3人

(2) 学生支援の充実

社会で通用する汎用的能力の強化を図るとともに多様化したニーズに対しての学生サービスを提供し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1) 学生サービスの強化

①学生サポートを全学組織的に行うための学生カルテシステム(仮称)の導入

【九女大・九女短大AP.No9】

平成28年度導入予定であった学生カルテシステムについては、教務システムとのデータ完全連動が不安定であるとの予測が出されたため、平成32年度の教務システム移行期に合わせて導入することとし、平成30年度については、現状の教務システムによる学生情報管理システムの運用を継続し、学生一人ひとりに見合ったアドバイスが可能となる新規事務システム導入に向けた検討を行う。

[成果指標]：アンケートによる学生生活満足度 70%

②就職に必要とする汎用的能力育成のための支援 【九女大・九女短大AP.No10】

学生の汎用的能力育成支援を確立させるため、九女型人材育成プログラムの実施、および成果検証、キャリアデザイン授業科目における就職支援講座の導入を行うことにより、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生ジョブコーチ登録者数 50人

③図書館による各種学修支援講座の充実 【九女大・九女短大AP.No11】

第2次中期計画の4年間で実施してきた初年次教育・図書館リテラシー教育の内容を見直し、平成31年度に向けた教育内容の検討、レファレンス・サービスの受付・分析、図書館職員の技術向上、図書館環境整備・企画の検討を行うことにより、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：年間開講講座数 100回 学生1人当たり年間受講率 200%

2) 国際交流システムの構築

①国際交流の促進による留学生支援の強化および相互交流の拡大 【九女大・九女短大AP.No12】

国際化事業の推進のため、留学生生活アンケート調査、学生間自主交流活動の実施、ならびに留学生用宿舎の確保に取り組み、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：留学生生活アンケートによる留学生満足度 90%

(3) 大学運営の強化

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1) 大学運営組織体制の強化

①学修成果測定のための全学的な各種アンケート調査などIR機能の整備 【九女大・九女短大AP.No13】

学内における連携協力体制のもと、大学ポートレートへの対応、学生アンケート調査および各種データの収集を実施し、その結果を根拠資料とした自己点検・評価報告書作成等により、教育活動の質転換・質保証に向けたデータの収集を始めとするPDCAの好循環を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：各種データの分析結果に基づく問題・課題点の抽出および報告件数 2件

②各種委員会の機能強化と整備 【九女大・九女短大AP.No14】

学長のリーダーシップのもとに、時代の変化に対応した自己改革を自主的・自律的に改善できるようにするため、学校教育法をはじめとする法令に則り、運営体制の検証を行う。

③改革を支える事務職員の能力向上への支援 【九女大・九女短大AP.No15】

本学独自のSD（スタッフ・ディベロップメント）により事務職員の能力開発・向上を図り、教職協働の実践に資するため、学内研修会（接遇マナー研修会）、学外研修会への参加、ならびに研修報告の共有化等を行う。

2) 戦略的入試・募集広報の強化

①ステークホルダー向けの模擬授業・公開講座等の実施 【九女大・九女短大AP.No16】

安定的な定員充足のための地盤作りのため、高校生や保護者、高校教員を対象に、模擬授業・公開講座等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：模擬授業等の参加者数 300人 模擬授業等の参加者満足度 100%

②現連携校との新たな連携方法の構築および連携校の拡大 【九女大・九女短大AP.No17】

安定的な定員充足を維持するため、サマーセミナーや勉強会等の実施対象校を既存の2校に加え1校を追加できるよう調整を図る。また、連携校からの入学者を確保するため、高校のニーズに適った教育支援等を協議し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：連携校からの入学者数 50人

3. 自由ヶ丘高等学校

自由ヶ丘高等学校は、「すべての生徒一人ひとりのために教育を行う高校を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、「人間開発」、「学力開発」を基軸とし、知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康と体力)の調和のとれた豊かな人間性を養い、社会を生き抜くことのできる人材を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教師の資質向上および組織的教育力の充実、(2)部活動の充実、(3)募集活動および地域社会との連携強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教師の資質向上および組織的教育力の充実

自己評価、校内研修等を通して、教師としての実践的指導力、その基盤となる豊かな教養および専門的知識の向上を図る。また、生徒の夢を実現させるべく、希望進路に応じた組織的教育活動を展開する。

1)効果的・組織的な教育活動の推進

①生徒の学力・進路等に対応した具体的・計画的な運営および実施 【高校AP.No1】

生徒の学力や希望進路に沿った授業を展開し、質の高い授業を実施するため、1学期末の教務部会でシラバスの完成を図るとともに、平成31年3月末に告示される新学習指導要領に即して改善を要する箇所を点検し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：コース・クラス別シラバス(学習指導計画)の作成 全学年分

②実践的指導力の充実 【高校AP.No2】

校内外の研修会を通して、自己研鑽を積み、卓越した指導力のある教員集団を作り上げ、授業満足度を高めるため、計画的な研修会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：授業満足度アンケートの評価ポイントの上昇 17.4点

③授業時間の適切な配分(確保) 【高校AP.No3】

授業と教育効果のある行事を精選して、「知育」「徳育」「体育」のバランスのとれた教育活動を推進するため、授業実施計画の作成、ならびに点検・評価を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：各コース・クラスごとに作成した年間授業実施計画の100%実施 100%

2)教科指導の充実

①教科別授業研究の実施 【高校AP.No4】

生徒の実態に即し、コース・クラスに応じた適切な教科指導を行うとともに、教員が自己研鑽を積み、資質向上を図るため、年間を通した授業計画を策定し、ベテラン教員の手法が伝達できるよう教科・科目ごとの授業研究を実施する。

3)受験対策指導の強化

①小論文・面接・討論など多様な入試に対応できる生徒の育成 【高校AP.No5】

国公立大学推薦入試の進路実績の向上を図るため、大学推薦入試対策に係る計画の立案、総合学習を利用したキャリア教育、ならびにボランティア活動とインターンシップへの参加推進等を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国公立大学推薦入試合格者数 30人

②校外模試成績分析と情報共有による受験指導の強化 【高校AP.No6】

国公立大学一般入試の進路実績の向上および難関国立大学合格者の増加を図るため、校外模擬試験、進路検討会の実施、ならびに模擬試験分析会等を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国公立大学一般入試合格者数 90人

(2)部活動の充実

主体的に行動できるリーダーを育成し、文武両道の活力に満ちた学校づくりを行うため、部活動の活性化を図る。

1)部活動の活性化

①部活動加入率の向上 【高校AP.No7】

文武両道の活力に満ちた学校づくりを推進するため、部活動紹介、部活動体験入部、部活動生徒集会、ならびに部活動加入調査を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：部活動加入率 70%

(3) 募集活動および地域社会との連携強化

高校の特色を伝える効果的募集活動を展開する。また、地域に根差し地域に開かれ信頼される学校づくりを行う。

1) 戦略的広報活動の推進

① オープンスクールの開催

【高校AP.No8】

本校への興味・関心を高めるため、中学生・保護者・中学校・塾等を対象としたオープンスクールの企画、ならびにリーフレット・ポスターの作成を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンスクールの参加者数 2,650人

② 中学校・塾への広報活動の充実

【高校AP.No9】

本校への興味・関心を高めるため、中学校・塾主催の学校説明会、出前授業、ならびにPTAの高校訪問について広報活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：〈中学校主催〉学校説明会への参加校数 50校
〈中学校主催〉出前授業への講座数 15回
〈塾 主 催〉学校説明会・出前授業への参加校数 15校
〈P T A〉高校訪問参加者数 260人

③ 戦略的募集計画の立案に資する調査・分析の実施

【高校AP.No10】

志願者および入学者の増加を図るため、オープンスクール・PTA・中学生の学校訪問・塾対象学校説明会等におけるアンケート調査結果分析、また、新規開拓塾等の早期発見を通じ、募集業務に反映させる。さらに、ホームページ閲覧データを解析し、中学生や保護者のニーズに合う記事の執筆を行う。

2) 地域貢献活動、ボランティア活動の推進

① パソコン公開講座の実施、インターアクトクラブを中心としたボランティア活動への参加

【高校AP.No11】

地域社会から信頼・評価され、開かれた学校づくりを行うため、活動計画の立案、パソコン公開講座、ならびにインターアクトクラブ(社会奉仕クラブ)を中心としたボランティア活動への参加者募集と活動を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公開講座の参加者数 80人 ボランティア活動の参加者数 400人

4. 九州女子大学附属幼稚園

九州女子大学附属幼稚園は、「健全な幼児教育を行う幼稚園を目指す」ことを使命として掲げるとともに、育成方針を、義務教育およびその後の教育の基礎を培い、心身ともに健やかな幼児を育成することとしている。この使命・育成方針を達成するため、1) 保育内容の充実、2) 大学・地域との連携、3) 幼稚園運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1) 折尾幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①保育スキルの向上 **【折尾幼AP.No1】**

園や教員などの「自律性」を確保し、日常的な保育活動を充実させるため、園内研修のあり方を検証し、効果的な研修計画を立案したうえで、研修会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園内研修の実施回数 12回

②カリキュラムの充実 **【折尾幼AP.No2】**

「自ら～する」という自主性、主体性、自立性を育む教育が保護者に共通理解されているかの検証を行うため、保護者に対するアンケートを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：保護者の満足度数(5点満点) 4.5点

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①地域の福祉施設等との連携 **【折尾幼AP.No3】**

地域住民との双方向によるイベントへの参加を通して、特色ある折尾幼稚園像の定着化を図るため、開催イベント等の調整、参加促進方法の検討、ならびに連携計画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域との連携回数 15回

②大学・地域のイベント等への参加 **【折尾幼AP.No4】**

大学・地域のイベントへの積極的な参加を通して、相互の信頼関係の構築を図るため、イベント等の実態調査、年間スケジュールの調整、担当者間の話し合い、ならびに計画的なイベント等への参加を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：イベント等への参加回数 8回

③大学教員との連携 **【折尾幼AP.No5】**

幼児教育を取り巻く課題について大学教員との連携に基づく講習会等を通して、教員の質の向上を図るため、保育現場での課題把握、大学教員のリサーチ、担当者間の協議、ならびに連携計画の企画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学教員との連携回数 9回

④学生との連携 **【折尾幼AP.No6】**

学生のイベント等への参加を促進し、学生との共働を通して、幼児教育のあり方について共通理解を深めるため、現状把握、ニーズ確認、年間スケジュールの調整、ならびに連携計画の企画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生との連携回数 13回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実 **【折尾幼AP.No7】**

未就園児の入園に繋げるため、昨年度プログラムの見直し、参加促進方法の検討、参加者が触れ合い共感できる仕組み作り、ならびに新企画の検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室参加者数(延べ) 700人

②ホームページ等による広報活動の推進 **【折尾幼AP.No8】**

本園の認知度を高めるため、ホームページ等の見直し、ニーズの把握、他園ホームページ等による情報収集、広報媒体の検討、ならびにホームページアクセス件数増加に向けた新企画の検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページアクセス件数 10,100件

③幼小連携プログラムの策定 **【折尾幼AP.No9】**

幼小連携を強化し、本園の存在をアピールするため、昨年度プログラムの見直し、実態調査、幼小連携プログラム策定に向けた検討、ならびに幼小連絡会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼小連絡会実施、連携回数 10回

(2) 自由ヶ丘幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

① 保育の質の向上 【自由幼AP. No1】

計画的な研修を実施するため、PDCAサイクルの確立、全体研修会、ならびに計画的研修(個人研修)の推進を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修会への参加回数 56回

② 思いやりの心の育ち 【自由幼AP. No2】

絵本の読み聞かせを通して、豊かな感性を養うため、読書カリキュラムの作成、定期的な読み聞かせ、ならびに各学年のお勧め図書の選定・購入を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：読み聞かせ(1クラス)冊数 100冊

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

① 地域との交流の推進 【自由幼AP. No3】

地域に信頼され、支持される園づくりのため、計画の立案、田植え、稲刈り、ならびに餅つきを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域との交流回数 3回

② 大学教員との連携による保育の質の向上 【自由幼AP. No4】

保育の質の向上を図るため、設置大学と連携し、体を動かすことが大好きな子どもを育てることを目的に、リトミック教室等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：体操教室、リトミックの実施回数 100回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

① 未就園児教室の充実 【自由幼AP. No5】

未就園児の入園に繋げるため、昨年度プログラムの見直し、参加対象・条件の検討、ならびに参加者が触れ合える仕組み等新企画の検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室の参加人数(延べ) 550人

② 保護者に信頼される園づくり 【自由幼AP. No6】

保護者に対し、園の方針等のタイムリーな情報発信に努め、保護者の満足度を高めるため、ホームページの更新・意見聴取、ならびに次年度の更新内容の検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：保護者の満足度 80%

(3) 鞍手幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

① 保育力を高める理論と実践の研究 【鞍手幼AP. No1】

園全体の保育スキルを向上し、日々の保育に還元するため、計画的な研修、ならびに保育成果の分析・改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修の参加回数 15回

②体験型保育の充実 【鞍手幼AP.No2】

園の教育方針である「命の大切さ、優しい心」、「素直に感動し、豊かな心」を育み、小学校以降の教育基盤を作るため、英語教室の実施、計画的な体験型保育、ならびに保育成果の分析・改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：体験型保育の実施回数 30回

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①地域との連携・交流 【鞍手幼AP.No3】

異年齢交流や美術展への参加を通して、仲間意識や優しさを育むため、計画的な保育の開催、ならびに交流成果の分析・改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域と連携・交流会回数 10回

②大学教員・学生と幼稚園とのコラボレーション 【鞍手幼AP.No4】

附属幼稚園の特性を生かし、設置大学との交流を通して、保育内容を強化するため、計画的な連携、ならびに成果分析・改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学教員・学生と幼稚園との連携回数 12回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実 【鞍手幼AP.No5】

未就園児の入園に繋げるため、計画的な未就園児教室の開催、ならびに成果分析・改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室の参加人数 280人

②広報活動の充実 【鞍手幼AP.No6】

本園の保育内容をアピールするため、行事保育や日々の子どもの様子を保護者に発信するとともに、本園に興味を持つ方々への情報発信として、ホームページとFacebookの更新、ならびに成果分析・改善を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページアクセス件数 38,000件

Facebookアクセス件数 9,000件

5. 管理運営

(1) 組織改革

①意思決定システムの改善 【法人AP.No1】

法人事務局および設置校における専決事項を見直し、決裁手続きの簡素化と事務の効率化を図るため、既に実施した幼稚園の実績検証、新たに実施する高校の職位別専決事項の具体化および検証を実施する。

②事務組織の統廃合 【法人AP.No2】

効率化とサービス機能の充実を両立させた事務組織を構築するため、九州共立大学事務局の再編検討、既に再編を実施した九州女子大学事務局の現況調査、大学共

通業務の統合による効率化策の検討を実施する。

(2) 人員体制

① 適正な教員体制の構築 【法人AP. No3】

設置基準等を基本とする必要最小限の教員体制を構築するため、教員1人当たりの学生数および専任教員比率等を考慮し、適切な教員配置について検討する。

② 生産性の高い事務職員体制 【法人AP. No4】

少数精鋭な人員体制にスリム化するとともに適正な年齢構成を再構築するため、パート職員の業務見直し、新卒者の定期採用、ならびに定期的な人事異動による人材育成や人事の活性化について検討する。

(3) 制度改革

① 人事総合制度の構築と定着化 【法人AP. No5】

導入済み制度(自己申告制度・研修制度)の整備・再構築、ならびに平成26年度から導入した制度(等級資格制度・昇任昇格制度・管理職登用制度)の運用・部分的な見直しを行うとともに、義務化されたSD研修を学園全体の取り組みとして位置付け、さらに階層別研修の研修内容の充実を図る。

(4) 省エネおよび節電対策の推進

① エネルギー使用量1%削減の継続(対前年エネルギー使用量比) 【法人AP. No6】

光熱水費使用量の点検・報告、省エネパトロールを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：前年度比1%エネルギー消費の低減 前年比 -1%

(5) IRデータによる改善・改革の支援

① IRデータの調査・分析による改善・改革の支援 【法人AP. No7】

大学内外の様々な情報(データ)を収集・分析し、組織的な管理を行うとともに、客観的なデータに基づく評価を、教育、研究、学生支援、経営等に活用し、大学教育の質保証を図るため、IR委員会の定期開催、ならびにデータの分析結果に基づいた、問題点・課題点の改善・改革について検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：データの分析結果に基づく問題点・課題点の抽出 2件

(6) 教育研究環境の整備

① 九州女子大学・九州女子短期大学新棟の建設 【法人AP. No8】

本事業は、平成28年度をもって完了したため、アクションプランは策定しない。

② 学園設置大学の耐震補強工事等 【法人AP. No9】

九州共立大学 研究棟へ学術情報センターおよび電話交換室の移転計画に基づき、研究棟の改修工事および第一学舎、西第一学舎からの移転先施設である深耕館の空調設備、講義室間仕切等改修工事を実施する。

③ 学園校舎等の施設維持工事 【法人AP. No10】

老朽化した九州共立大学 図書館、自由ヶ丘高等学校 耕文館の空調設備改修工事を実施する。